

NST がもたらしたもの ～管理栄養士の立場から～

済生会松阪総合病院 NST 管理栄養課¹⁾ 薬剤部²⁾ 検査課³⁾ 看護部⁴⁾ 内科⁵⁾
村林 由紀¹⁾ 加藤 はつ美¹⁾ 佐久間隆幸²⁾ 川添史²⁾ 笠井久豊³⁾ 見並ひとみ⁴⁾
鶴森立美³⁾ 稲垣悠二⁵⁾ 橋本章⁵⁾ 清水敦哉⁵⁾

【はじめに】

当院は 430 床の急性期病院であり、2002 年 4 月から全科型の NST を稼働している。NST メンバーは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、事務員から選出され、現在 35 名で構成されている。管理栄養士は現在 2 名が勤務し、NST メンバーとして活動している。

【管理栄養士業務の現状】

管理栄養士の業務としては、NST 稼働前は栄養指導と給食業務が中心であったが、NST 稼働後は入院患者の栄養管理業務を行う時間が大幅に増加した。毎週火・木曜日には、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士を中心に全病棟の NST 回診を実施 毎週火曜日には NST ミーティングとしてメンバー全員で症例検討や勉強会を開催 入退院時の栄養管理計画書の作成、入力不備のチェック 栄養不良患者の抽出を行っている。なお、2008 年度の NST 対象患者の抽出件数は 1,076 件、NST 新規患者は 219 名、NST 回診延べ件数は 1,061 件であった。

【最後に】

従来の管理栄養士は経口摂取が可能な人への栄養指導が中心的な業務であった。しかし NST の活動とともに 急性期症例への対応 栄養アセスメントの実施と評価 経腸栄養や経静脈栄養へのプランニングをすることが重要となり、ベッドサイドの業務が増加し、医師や薬剤師、看護師との連携が深まった。今後はさらに在宅への栄養管理についても取り組んでいきたい。